

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 夜勤者と日勤者が毎日利用者の報告をしている。打ち合わせが終了したら、理念の唱和をしている。 | 事務所内に理念を掲げ、朝夕の勤務の入れ替わり時に唱和している。また、毎月1回のミーティング時、代表者も交えて、理念について話し合われている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内の行事、ゴミの事、挨拶、子供への話しかけ等、地域で暮らし、人々と交流する様心掛けています。 | 併設のデイサービスや有料老人ホームとの交流の他、一階テラスに出て、近所の小学生や近隣地域の人達と談話を楽しんでいる。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 近所の人には、認知症について聞かれたら相談に乗っている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議を開くために、利用者の家族に声をかけ、出席してもらい意見を聞いている。 | 定期的な開催は出来ていませんが、利用者家族に参加してもらい、また、地域包括支援センターと連携を取りながら、サービスの向上に生かしている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | お知らせすべきものがあれば、協力させてもらっている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 勉強会・ミーティング等で、月に1回は勉強会を開いている。 | 月1回、身体拘束についての話し合い(勉強会)が持たれてい。また、日頃から拘束しないケアの実施に努めている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待をしない様に介護のやり方をミーティングしたりして、取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 代表者・管理者はこの制度を理解しているが、職員にまでは理解されていないと思う。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には事業所の考え方、取り組み、対応できること・できないことを説明している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族には訪問時に、説明するように心掛けており、開かれた施設作りを作る努力をしている。 | 家族に向けてアンケートを配布している。その中でもケアサービスにおける重要項目については、直接家族に伺い、運営に反映させるようにしている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティング・個別面談にて職員の意見を聞く機会を設け、ミーティング等に取り上げている。 | 1か月に1回、ミーティングで話し合う機会を設けると共に、随時、速やかに職員から意見等を聞く努力している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の資格取得、介護の知識の向上を指導。資格への賃金体制を作っている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 介護は「人」である。職員の質の向上に向けた育成は必要不可欠である。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者や職員には交流する機会を作り、勉強会・相互訪問等の活動取り組みをしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人の思いや不安を受け止め、安心してもらう事。今までの生活を大切に、本人観察を特に行っている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家での生活・家族の苦労・今までのサービス利用等、ゆっくり聞く様にしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人や家族の思い、相談時に改善に向けた支援の提案等、信頼関係を築きながら必要なサービスを繋げるようにしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 本人の生活を大切に、声かけ、見守りサポートしながら、暮らしを提供している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人の日頃の状態をこまめに報告・相談しているが、無関心な家族に苦慮している。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人の今までの生活を大切に、馴染みの人や場所との関係が切れない様、努力している。 | 地域パトロールの一環として、小学生の登下校時に声かけしたり、近隣への散歩途中や家族面会時を利用したりして、触れあう機会を設けている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 認知症通所介護事業所も併設しているので、みんなで出来る事に取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要なら相談や支援に努める。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中で声をかけ、把握に努めている。言葉や表情をから真意を推しはかたり、確認をするようにしている。御家族や関係者から情報を得るようにしている。 | 介護度の関係もあり、中々利用者から思いや意向が伺えませんが、日々の生活の中において表情から思いを汲み取ったり、家族の意向を伺ったりして、両面から検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人のバックグラウンドを知れば知るほど、その人への理解に繋がり、この取り組みは大変重要なことと考え、本人家族や地域の人の力を借りながら継続的に行っている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し、行動や小さな動作、表情から感じ取り、本人の全体像を把握している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人家族の日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映させている。アセスメントを含め、ミーティングしながらモニタリング・カンファレンスを行っている。 | 日々のケアの中でスタッフ同士、情報交換しながら共有化を図り、また、現状把握しながら、計画作成が行われている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別の記録を作成し、情報を共有しながら介護しているが、伝達が上手くいかないこともある。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人家族の状況に応じて通院や送迎等の必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 利用者が安心して地域で暮らし続けられるよう町内の行事やオープンカフェを作って、いつでも話が出来るよう支援している。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診は適切な医療体制を作り、定期的に継続している。 | 近所に往診対応の先生を確保されており、適切な医療が受けられるような仕組みが整えられている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日々の体調を管理し、看護師との連絡を密に取っている。24時間体制を取っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、家族等と協働しながら医療機関と一緒に退院に向けて支援している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 本人や家族の意向を踏まえ、医師と職員が連携を取り、安心して納得した最後が迎えられるよう取り組んでいる。 | 入居時、ご家族と終末期の在り方について話し合っている。また、希望者には看取りも行っている。スタッフ全員が終末期ケアについて理解し、実践している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急対応のマニュアルを作成し、周知徹底を図っている。定期的な勉強会を開いている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回、消防訓練はしている。 | 年2回、地域住民の協力の下、訓練が行われている。また、今年度、スプリンクラーを設置する予定であり、屋内体制も整えつつある。 | 避難経路の再確認を行うと共に、速やかに避難できるよう、避難経路の安全性確保に取り組んでほしい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 人格を尊重し、居室での着替えやトイレ・風呂はカーテンで仕切り、プライバシーを尊重するよう努める。 | 理念の中にも掲げられていますが、個人の人格を尊重し、和やかに過ごせるよう、言葉かけに気をつけて支援している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者が言葉で十分に意思表示が出来ない場合であっても、表情や反応を注意深くキャッチしながら、自己決定できるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースを大切に、それに合わせた対応を心掛けている。その日のコンディション・様子を見ながら本人の希望を尋ねたり相談して支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 整容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にサポートしている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 旬の食材や新鮮な物を採り入れメニューを工夫し、楽しく美味しく食べる工夫をしている。味付け・カロリー等考えている。 | 季節感が味わえるよう、旬の野菜をふんだんに取り入れ、また、栄養バランスを考えながらメニューを作成している。また、入居者さんの残存機能を活かし、積極的に調理に参加してもらえるよう支援している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量は個々に合わせて確認。本人の食べやすい状態で出す工夫をしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 利用者の状態に合わせて、洗面所に行く人、ガーゼやスポンジで口を綺麗にする人、入れ歯の管理、手入れ等している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 自尊心に配慮し、利用者の様子からサインを見逃さず、本人の身体機能に応じて歩行介助、車椅子誘導等、支援している。 | 失禁を防ぐため、排泄チェック表に記録し、各々の排泄パターンを理解すると共に、自立に向けての支援が行われている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄のリズムをつかんで、水分・牛乳・ヨーグルト、又、繊維の多い食品でコントロールする。本人のトイレサインを見落とさない様に努める。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | カーテンで仕切り、プライバシーを保持している。安全な入浴、体調をチェックして、清潔保持、リラックスできるようチームプレイで支援している。 | 2日に1回は入浴が行われるよう支援されており、入浴が日常生活の楽しみとなるよう、ゆったりと支援している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努める。心地よい眠りにつける様、穏やかに安心した時間を就寝前に持てるように努める。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 利用者の薬の処方、効能、副作用の説明をファイルに保管し、全職員に分かるように徹底している。本人の状態の変化には看護師・協力医療機関と連携を図っている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、出来そうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。月に1回は外出支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 外気浴、太陽に触れながら季節を感じる為に月に数回、散歩したり外に連れ出す努力をしている。 | 施設内に閉じこもらないよう、日々、ドライブに行ったり、喫茶店や公園等に出かけている。また、家族の力も借りながら、自然の中で季節を感じてもらえるよう、初詣や吉備路へも外出している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族が管理されないと本人では出来ない。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の出来る事、出来ない事を理解し、出来る事を支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者にとって不快や混乱を招く様な刺激が無い様に常に配慮し、花を生けたりして工夫している。 | 過ごし易い環境を提供できる様、空調管理に気を付けている。また、利用者と一緒に作成した季節の花等を掲示したり、レトロなタンスで時代を演出しながら、心地よい空間作りに努めている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食堂や居間は一体的な造りで全てが視界に入り易く、落ち着いて生活できる様に工夫している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 昔のタンスや裁縫道具、時計等を置き、温かく居心地良く暮らせるよう工夫している。 | できるだけ自宅で使用していた物を持ち込んでもらえるよう、声かけしている。また、各部屋、利用者の生活パターンに沿ったレイアウトで構成されている。 | 生活感のある使い慣れた家具を持ち込むことにより、入居者さんの精神的なケアにも繋がると思います。 |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者の身体状況に合わせて手摺の増設等実施している。危険な物は置かない様に場所確認できるように大きな字で説明している。 | | |